

【雅の里「^{たるみ}垂水」まちづくり懇話会】

平成6年から地域の産業、観光について、地域の個性を生かしたまちづくりや、意見交換などを行い、大野東部地区産業・観光活性化ビジョンを策定されました。『雅の郷・垂水』をまちづくりのコンセプトに毎年3月に行われる斎王群行をまちづくりの核として、地域のお茶や農業に配慮されながら、まちづくり計画を進められています。



◎皆さんのまちづくりへの熱い思いが伝わりました。



◎児童代表から歓迎の言葉

◎校庭で元気一杯の子どもたちと記念撮影



市長

ぐるっトーク

第4回

「土山町」

10月25日(火) 第4回となる『市長ぐるっトーク』が土山町で行われました。

市立鮎河小学校

全校児童数36名の小規模学校である鮎河小学校。児童数の減少が進む中で学校と地域が一体となりふれあい体験や山村留学などの活動を通じて少子化対策に取り組んでおられます。

この日は児童たちから歓迎の歌やスライドでの学校紹介、また市長と一緒にふれあい給食を通じて交流しました。

元気一杯の子どもたちから私も元気をわけてもらいました。

◎市長と一緒に給食を食べたよ



【特別養護老人ホーム「エーデル土山」】

高齢者の住みやすいまちづくりをめざす新しい拠点として平成11年4月に開設しました。ここでは訪問介護・入浴サービス・デイサービスなどの介護支援をはじめ、ショートステイ・グループホームを通じた共同生活による老人介護サービスが受けられます。

この日は施設内の見学や、グループホームを利用されている方々と日頃の生活について語りました。

「何か困っていることはありませんか」との問いかけに入居者の方から「別に困ったこともなく、毎日楽しいですよ。」という答えに、ほほえましいひとときを過ごしました。

●施設内を見学しました。



●皆さん笑顔で元気いっぱい

りくゆうかん

【六友館特産品グループ】

建設地である山内学区が6つの地域で構成されていることからこの名前がつけられた「六友館」。平成11年9月の開設を期に、土山町内で組織されている特産品加工グループ8団体が、ここを拠点に地域内で採れた野菜や山菜、お茶などを素材として特産品の定着、販路拡大に努められています。

現在、JA甲賀郡や道の駅「あいの土山」でも販売され、着々と定着しつつあるようです。

この日は各団体の方々から特産品づくりの苦労や思いを聴かせていただきました。



●特産品づくりには多くの苦労があると思います。



●地元のふき・茶を使った
手作りのお菓子

【土山地域女性の会】

土山町の女性が集まり組織された土山地域女性の会。これまでも文化祭への作品出展やバザー、斎王群行、土山宿場まつりと地域行事などへ積極的に参加されています。

会員数の減少が心配されるものの、地域での仲間づくりや共通の課題も多く、キラリと輝く活動・組織となるよう努力されています。今年は『地域の中で仲間づくりの輪を広げよう』『一人ひとりが自分らしく輝いて生きよう』を努力目標に活動される予定だそうです。今後も地域での活躍を期待しています。

●これからも男女共同参画のまちづくりにお力をお貸しください。